

平成27年第6回横手市議会9月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成27年9月2日（水）～4日（金） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	頁
2日	1	7番	土田百合子 議員	1
	2	13番	本間利博 議員	3
	3	21番	高橋聖悟 議員	4
3日	4	19番	佐々木喜一 議員	5
	5	14番	菅原正志 議員	6
	6	11番	加藤勝義 議員	7
	7	3番	立身万千子 議員	8
4日	8	1番	高橋和樹 議員	9
	9	24番	齋藤光司 議員	10

1. 【7番 土田 百合子 議員】

1. 消防団の処遇の改善について

- 1) 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が平成25年12月13日に施行され、消防団の処遇の改善と装備の拡充・強化が図られることになった。これを踏まえて、①消防団員の退職報償金の引き上げ、②活動に応じた適切な年額報酬のあり方や出動手当の額の引き上げ、③装備の充実・強化等について取り組む必要があると考えるが、消防団の処遇改善についての考えを伺う。

2. マイナンバー制度について

- 1) 「コンビニ交付サービス」の導入について。
平成25年6月定例議会の一般質問の答弁では、「マイナンバー制度対応時には、当然ながらコンビニ収納の導入についても検討する」というものであった。10月からマイナンバーが通知されるが、コンビニ収納に加え、住民票などの証明書をコンビニで発行できる「コンビニ交付サービス」の導入の考えについて伺う。
- 2) 健康寿命をのばす「健康ポイント」の導入を検討してはどうか。
厚生労働省は、健康づくりに取り組む人が特典をもらえる「健康ポイント」制度の普及を促す方向だが、当市の考えについて伺う。

3. 男女共同参画推進条例制定について

- 1) 日本経済の再生に向けた成長戦略では、女性の活躍を位置付け、女性が働きやすい社会づくりが推進されている。横手市第2次総合計画の中で、男女共同参画推進条例を制定して、取り組む考えについて伺う。
- 2) 女性育成のための「女性会議」の設置などの考えについて伺う。

4. 「産後ケア」について

- 1) 出産直後は、ホルモンのバランスが崩れ不安定になりやすく、核家族化などで孤立しがちな母親が育児疲れや不安から「産後うつ」に至り、子どもへの虐待へと発展してしまう場合がある。産後に焦点を当てた宿泊型「産後ケア」についての考えを伺う。
- 2) 市内産婦人科や病院などに委託し、宿泊や一時滞在型の事業の考えについて伺う。

5. 「よこてアリーナ」構想について

- 1) 「よこて創生・戦略プロジェクト」を発足させ、その中で「よこてアリーナ」構想を検討すべきと考える。横手市の実態を踏まえ、将来のありたい姿を市民に示すべきであると思うが見解を伺う。

2. 【13番 本間 利博 議員】

1. 地域文化の振興とまちづくりの方向性について

- 1) 歴史文化基本構想について伺う。
- 2) 国指定史跡「大鳥井山遺跡」の今後の整備計画について伺う。
- 3) 国指定史跡に付随する博物館ビクターセンター構想について伺う。
- 4) 陣館遺跡の国指定の可能性と申請の範囲について伺う。
- 5) 後三年合戦について横手市民として一体感を涵養するための方策について伺う。

2. 地区活性化のための交流施設のあり方について

- 1) 金沢交流施設の内容について伺う。

3. 【21番 高橋 聖悟 議員】

1. 債権の取り扱いについて

- 1) 税以外の債権の取り扱いについて伺う。

2. 市営温泉施設特別会計の財源不足について

- 1) 昨今の財政事情により、一般会計からの繰り入れも期待できないということから、財源の不足の可能性が生じることと思うが、どう対応していくのか伺う。

3. 市報のリニューアルについて

- 1) 見る、読むだけでない活用できる市報にすることを提案するが、見解を伺う。

4. 学校統合について

- 1) 十文字小学校統合にあたっては、通学区域、財政的見地など、もっと総合的に考える必要があるのではないか。

4. 【19番 佐々木 喜一 議員】

1. 財産経営推進計画（FM計画）について

- 1) 内部調整はどの段階なのか。
- 2) 今後、市民にどのように説明していくのか。
- 3) 実施には様々な意見が出るのが予想される。計画の具体化はどのようなスタンスで進めるのか。

2. アリーナ建設について

- 1) アリーナ建設によって、市と市民にもたらされるものは何か。
- 2) 建設について、可否を判断するためとして調査委託することには何か他の意図もあるのか。
- 3) 調査委託の報告をどのような視点で判断し説明するのか。
- 4) 運営方法も含めての調査になるのか。
- 5) 財源について伺う。

3. 農産物のブランド化について

- 1) ブランド化に対する各部局の共有する概念は何か。
- 2) ブランド化を進めてきた成果と課題は何か。
- 3) 小さな組織、個人でのブランドの創出についてどのように考えているか。

5. 【14番 菅原 正志 議員】

1. 指定管理の考え方について

- 1) 地域交流センター化を目指してきた地区への今後の対応について伺う。
- 2) 体育協会への関わりについて伺う。

2. 地域活動の活性化について

- 1) 多くの住民を巻き込んだ地域づくりのあり方として、地域自主組織の創設を検討してはどうか。

3. 女性会議の創設について

- 1) 一般市民の女性で構成する、市長を囲み定期的に懇談する場を設けてはどうか。

4. 女性幹部職員の登用について

- 1) 管理職試験があるという現状の中で、受験しようとする意志を育む環境づくりを検討してはどうか。
また、意図的に女性幹部職員を誕生させるという取り組みを検討してはどうか。

6. 【11番 加藤 勝義 議員】

1. 権利と義務について

平成 25 年 6 月定例会において、当時議員だった市長の一般質問で、横手市自治基本条例案の中での、権利と役割の表記について「権利と義務」は一对であるとして、市民に係る義務と言う文言が明記されていないことに対して質疑があった。以下質問する。

- 1) 市長となった現在、「権利と義務」についての考えを伺う。
- 2) 国民には納税の義務がある。市税歳入の収入未済がある中で、収納率を上げるために市民に対して納税の義務への理解や発信をどのように進めていくのか伺う。
- 3) 選挙権年齢を 18 歳から引き下げる改正公職選挙法が成立し、来年夏の参院選から 18 歳になれば高校生にも投票する権利が与えられる。この権利を行使するために、前期・後期中等教育での政治に参加する教育と主権者教育の必要性をどのように捉えているか。

2. 子宮頸がんワクチン接種について

国では、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が HPV ワクチンの接種後に特異的に見られたことから、この副反応の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるようになるまで定期接種を積極的に奨励すべきではないとした勧告を出している。それを踏まえ以下質問する。

- 1) 横手市の子宮頸がんワクチン接種における副反応の追跡調査の有無と、疑いの事例と人数を伺う。
- 2) 国の副反応被害支援が進まない中、市独自に患者の支援に乗り出す考えはないか。
- 3) 昨年、横手市では 4 名の方が接種を受けた。接種者に対して事前にリスクなどを説明し、同意を得ているのか伺う。
- 4) 市としての子宮がん対策はワクチン接種ではなく、すべてをがん検診に移行する考えはないか。

7. 【3番 立身 万千子 議員】

1. 地方創生事業における今後の課題について

- 1) 地域消費喚起・生活支援型事業について、進捗状況から導き出される課題にどう取り組むか伺う。

- 2) 先行型事業について、今後の具体的施策をどう展開するか伺う。

2. マイナンバー制度開始を前にしての課題について

- 1) 万全なセキュリティ対策を具体的にどう講じているか伺う。

- 2) 市役所の受け入れ態勢は万全か伺う。

8. 【1番 高橋 和樹 議員】

1. 横手市地域防災計画から危機管理体制について

- 1) 各部の連携状況と防災訓練について伺う。

- 2) 関係機関、各団体、組織との連携について伺う。

- 3) 後方支援の目的とあり方について伺う。

9. 【24番 齋藤 光司 議員】

1. 十文字地域小学校統合について

- 1) 8月20日、十文字西地区において十文字地域小学校統合の進捗状況の説明会が開催された。

十文字地域小学校統合検討委員会で協議された3つの案件、①統合の是非について、②統合の時期について、③建設の候補地についての中で、検討委員会が教育委員会に提出した①と②は「十文字地域の4小学校を遅くとも平成33年まで統合」ということで住民理解が進んできているものと思う。

しかし、③の建設候補地については、当局案と住民意識に大きな乖離がみられた。急がなければならなかった建設に障害となる土地改良事業の期間制限に縛られることなく農振除外が可能となった今こそ、建設場所の選定には時間をかけるべきだし、その選定過程の可視化が住民理解の一步となるべきである。そのためにも説明会で出された第1候補地の白紙撤回が必要不可欠と思うが考えを伺う。

2. 空き家対策について

- 1) 今議会において財産管理人制度を活用する予算措置がなされているが、これで市民をひとまず空き家被害から守るツール、①財産管理人制度の活用、②行政代執行、③条例による種々の手当てと揃ったわけだが、それぞれの運用基準をどう考えているのか。

また、この財産管理人制度が市内各地の喫緊の空き家被害の予防にどれくらい対応できていくのか伺う。

3. ピロリ菌抗体検査事業について

- 1) 世界保健機関（WHO）の専門組織は2014年9月、胃がんの8割がピロリ菌の感染に起因するとの報告書を公表した。

人口10万人当たりの胃がん死亡者数は、秋田県が全国最悪の65.6人（2013年度）であり、当市でも63.5人と高水準である。また、胃がん検診の受診率は24.7%にとどまっている。早い段階での胃がん予防、また、医療費総額の軽減策としてもきわめて有効な施策と思われる。由利本荘市とにかほ市では、今年度から中学2年生を対象に学校検診時に導入をされている。当市でも導入する考えがないか伺う。

平成27年9月定例会日程予定【会期25日間】

—— **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——

◇8月24日（月）〔開会〕議案上程 ほか

◆9月 1日（火） 会派代表質問

◇9月 2日（水） 一般質問

◇9月 3日（木） 一般質問

◇9月 4日（金） 一般質問

◇9月17日（木） 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

—— **委員会** ——

◇8月24日（月） 一般会計予算特別委員会

◇8月24日（月）～25日（火）

決算特別委員会

◇9月 7日（月）～10日（木）

決算特別委員会分科会・常任委員会

◇9月15日（火） 決算特別委員会

◇9月17日（木） 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”



